

平成 27 年度 一般財団法人宮城県公衆衛生協会研修会

1. テーマ：「地域包括ケアシステムをどう進めるか」

2. 日 時：平成 27 年 11 月 26 日（木） 13：00～16：00

3. 会 場：フォレスト仙台 フォレストホール

仙台市青葉区柏木 1-2-45 電話 022-271-9340

（特に駐車場はご用意しておりませんので、公共交通機関をご利用下さい。）

4. 目 的：地域包括ケアを効果的に推進するためには、その概念や先進事例を学ぶことに加えて、東日本大震災からの復興という宮城県固有の課題や全国的な関連施策との関連についても検討する必要があります。

そこで本研修会では、3人の先生をお招きして、以下の点を論じていただきます。藤森研司先生には、平成 28 年半ばまでに策定される「地域医療構想」の視点から慢性期医療のあり方を論じていただきます。長純一先生には、「震災復興」の視点から地域包括ケアのあり方を論じていただきます。辻一郎先生には、内閣官房「日本版 CCRC 構想」の視点から地域包括ケアのあり方を論じていただきます。

これにより、公衆衛生関連職種が地域包括ケアシステムを総合的にどう進めるかについて、ともに考える機会にしたいと思えます。

5. 内 容：

シンポジウム 「地域包括ケアシステムをどう進めるか」

座 長 東北大学災害科学国際研究所 災害公衆衛生学分野 教授 栗山 進一 先生

○ 地域医療構想からみた慢性期医療の在り方について

東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野 教授 藤森 研司 先生

○ 被災者支援から地域包括ケアへ ～被災地石巻における取り組み～

石巻市包括ケアセンター長・石巻市立病院開成仮診療所長 長 純一 先生

○ 日本版 CCRC から見た地域包括ケア

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授 辻 一郎 先生

全体討論

6. 参加対象：宮城県内の公衆衛生関係者及びテーマに関心のある県民の方

7. 参加費：無 料

8. 申込方法：申込書は当協会ホームページ（<http://www.eiseikyokai.or.jp>）公衆衛生情報みやぎからもダウンロードできます。又、E-mail、FAX、郵送にて申し込みもできます。

9. 定 員：200 名（定員になり次第締め切ります。当協会ホームページでお知らせいたします。）

10. 申込締切日：平成 27 年 11 月 13 日（金）

「聴講券」を 11 月 20 日（金）までに、E-mail 又は FAX にて送信いたします。
当日お持ち下さい。

11. 主 催：一般財団法人宮城県公衆衛生協会

12. 共 催：宮城県公衆衛生学会

13. 後 援：宮城県、仙台市

お問い合わせ

〒981-3111 仙台市泉区松森字堤下 7 番地の 1

一般財団法人宮城県公衆衛生協会

TEL：022-771-4722 FAX：022-776-8835

E-mail：johou@eiseikyokai.or.jp

担当：総務課 須藤

(送付書不要。このままご送付下さい。)

一般財団法人 宮城県公衆衛生協会 総務部総務課 あて

FAX : 022-776-8835

「平成 27 年度研修会参加申込書」

申込日：平成 27 年 月 日

勤務先		
住 所	〒	
連絡先	TEL	FAX
E-mail		
参 加 者	部 署・役 職	氏 名
ご記入いただいた個人情報は、主催者のみで保管し、本人の許可なく第三者に開示・提供いたしません。 なお、個人情報保護法により、出席者名簿の配布はいたしませんので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。		